

国語 第2学年 読んで考えたことを話そう 検討会の想定問答

指摘 1：この単元で身に付けることは何か。

返し：獣医の仕事を時間の順に読み、何をしているかと、その理由や工夫を対応させる。自分の動物園や動物に関する経験と結び付け、読む前に知らなかった仕事への感想をもつ。C(1)オの学習として、仕事と感想のカード。本文で読んだ仕事、理由、自分が知っていたこととの違い、感想を記す。

指摘 2：何をもって学習できたと判断するか。

返し：おおむね満足できる状況は、獣医の仕事について読んだことと自分の経験を結び付け、感想をもっているという姿で捉える。語句や本文を示さず結論だけ述べる場合は、根拠を確かめる支援を行う。発言の回数や記述の長さでは判定しない。C(1)オの姿を本時の発言と記録に照らす。

指摘 3：活動が楽しいだけで終わらないか。

返し：仕事と感想のカードを残す。本文で読んだ仕事、理由、自分が知っていたこととの違い、感想を記す。活動後に、どの言葉を根拠にしたかを確認することで、C(1)オに関わる学習の中身を確認する。

指摘 4：難しさのある児童にはどんな支援をするか。

返し：動物のかわいさだけを感想にする。獣医以外の人の行動と混ぜる。これについて、時を表す言葉と仕事の内容を並べ、誰がすることかを主語・述語で確かめる。動物園に行った経験がない場合は本や映像で知っていたことと比べてよい。〔知識及び技能〕(1)カとC(1)オを切り離さず扱う。

指摘 5：考えが違ったときはどう扱うか。

返し：教師の結論を選ばせず、「獣医の仕事のどんなところに驚きましたか。自分が見たり知っていたりしたことと比べると、どんな違いがありますか」に戻す。言葉や本文で確かめられる点と、個人の感じ方を分け、C(1)オに関わる根拠を話し合う。

指摘 6：本時の評価で態度まで決められるか。

返し：本時の参加の様子だけでは決めない。学年の目標(3)を受け、単元を通した記録と見直しの理由を合わせて判断する。発言の多さや従順さを態度の評価にしない。

指摘 7：端末がない学級でもできるか。

返し：仕事と感想のカードは紙に記録できる。本文で読んだ仕事、理由、自分が知っていたこととの違い、感想を記す。端末があれば書き直し前後を保存して比較する。道具の操作をC(1)オの評価の代わりにしない。

指摘 8：時間が足りないとき、どこを残すか。

返し：総時数の出典は光村図書出版の年間指導計画である。活動量を調整する場合も、本時の問いを自分で考える場面と、根拠を比べて記録を見直す場面は残す。C(1)オで目指す姿が確認できるように配当を組み直す。

指摘 9：動物園へ行った経験がない児童は不利ではないか。

返し：C(1)オの経験は実地見学に限らない。読書や読み聞かせで見聞きしたこととも結び付けられる。家庭の体験の多さではなく、本文の内容との関係性を評価する。

指摘 10：振り返りを感想だけにしないためには。

返し：「獣医の仕事のどんなところに驚きましたか。自分が見たり知っていたりしたものと比べると、どんな違いがありますか」への答えを学習前後で読み比べる。変えた点に加え、理由を確かめて残した点も書く。C(1)才に関わる言葉の捉え方・使い方を記録する。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

